



コーホート

13年目のHop! Step! Jump!

ちゃぶ台次世代コーホート通信第4号
 山口大学教育学部（ちゃぶ台方式教職研修部）
 ちゃぶ台次世代コーホート事務局
 山口県山口市吉田1677-1
 TEL：083-933-5399

やまぐち総合教育支援センターや 広島大学教職大学院とコラボした第4回！

参加者は、受講生83人、スタッフ15人、視察3人、計101人でした。受講生自身が講師ともなる会でした。コーホートメンバー、Advanced Courseのメンバー、やまぐち総合教育支援センターの長期研修教員、広島大学教職大学院院生が講師となり、研究発表、事例発表、模擬授業や研究協議、ポスター報告等を行い、盛りだくさんの内容で学びの多い研修となりました。各講座での受講生の感想をお伝えします。

第1部



発表タイトル等	発表者
学ぶ力を育てる子どもが輝く授業 ～学びを本物にすること オーダーメイドにすること～	広島県神石高原町立三和小学校 飯 干 新 先生
<ul style="list-style-type: none"> 発表や実践が素晴らしいのはもちろんなのですが、飯干先生の仕事に向かう姿勢そのものから学ぶことが多かった。フットワーク軽く、子どもたちのことを笑顔で語られる姿、カッコイイ！！（小学校教員） やっぱり授業づくり、教材づくりは楽しいものだったと思う。生活と関連させることで、目的が子どもの中で腑に落ちれば、子どもたちは「自走」し始めると思っている。「自走」し始めれば、教師としてはしめたもので、もう何もすることがないかもしれない。そうなるような授業デザインや学びの環境の工夫について、私ももっと学びたいと思った。（高等学校教員） 	
児童一人ひとりの学習意欲を高める授業に関する研究 ～教育支援を必要とする児童への対話活動の工夫を通して～	山口県防府市立大道小学校 渡 邊 隆 士 先生
<ul style="list-style-type: none"> 学習意欲とは何なのか、それを上げる要素は何なのか、考えさせられた。（教職大学院ストレートマスターM2） 学習意欲を測定する尺度を活用した研究実践で、大変参考になった。尺度の幅広い活用を今後考えていきたい。（小学校教員） 教育支援を必要とする児童の実態に即したPDCAを通じた支援は学習意欲の向上につながるということが分かった。対話活動のスキルを活用することで、消極的な児童も授業に参加しやすいと感じた。（小学校教員） 	
複式学級における学びを深める算数科学習指導の研究 ～見取りの中で意図的な手立てを取り入れた授業を通して～	山口県下関市立栗野小学校 小 川 千 鶴 子 先生
<ul style="list-style-type: none"> 複式学級を見たことも、経験したこともない自分にとっては、今後学んでいく方向性を把握できた。複式学級では、「他者の考え」が少ないため、「問い返し発問」が大切だと分かった。（大学教育学部1年生） これから山口県は複式学級が増えると思う。複式学級だからこそできることもあると感じたので、現場に出た際に楽しみたい。（教職大学院ストレートマスターM2） 	
よりよく生きるための道徳性を養う中学校道徳科の指導に関する研究 ～問い返しや思考ツールを用いた対話的な学びを通して～	山口県周南市立和田中学校 中 村 迪 子 先生
<ul style="list-style-type: none"> 自分事として捉えられることを意識されていた。自分も生徒の反応を起点として広げられる授業づくりを目指していきたい！（大学理学部4年生） 自分なりの考えを学級全体の考えの中に取り入れることができれば、道徳的に望ましいということだけを答えるだけで、本音を語ることができない生徒も自分の意見をもつことができるのだと分かった。また、本音を言える雰囲気は積み重ねていくことが大切なのだ分かった。（教職大学院ストレートマスターM1） 	
消費者市民社会の担い手となる意欲を高める高等学校家庭基礎の指導に関する研究 ～エシカル消費を地域に広げる探究活動を通して～	山口県立美祢青嶺高等学校 岩 原 伊 代 先生
<ul style="list-style-type: none"> 授業で学んだことを実生活につなげられるような取組で、勉強になった。教科横断的にできる取組を自分も実践していきたい。（大学理学部4年生） 「エシカル消費」と「自分の問題として捉えること」を大事な軸として授業を設計されており、行動が具体的に変わってきた様子も量的にも見てみたいと思った。（大学院ストレートマスターM2） 	

第2部



発表タイトル等	発表者等
みんなでいっしょに考えよう！ 子どもたちを笑顔にする算数授業！	山口県山口市立八坂小学校 村 本 涼 先生
<ul style="list-style-type: none"> ・色々な授業アイディアを聞くことができて、とても面白かった。村本先生の必要感を与える手立て、ゲームがすごいなあと思った。（大学教育学部3年生） ・実勢に複数人で授業をつくることで、他者と協力して授業をつくる楽しさを実感できた。先生の模擬授業も面白く、是非参考にしたいと思った。（大学教育学部4年生） ・組み替えながら、色々な年齢層の方とお話できて、たくさんのアイデアをもらった。（小学校教員） 	
先輩からのアドバイス ～先生になる前に、これ準備しとくといいかも～	山口県下関市立吉母小学校 岩 貞 太 祐 先生
<ul style="list-style-type: none"> ・大変具体的なアドバイスが多く、早く教員採用試験に合格し、教員になりたいと感じた。（大学人文学部3年） ・4月から教員として勤務するにあたり、準備物や心構えについて教えていただいた。昨年も同様のお話をしてくださったが、今年はより自分事として考えることができた。たくさんの準備をして4月を迎えられるようにしたい。（大学教育学部4年生） ・教師として働き始める上で知りたい、けどあまり教えてもらう機会がないのがそろえるべき道具と着任日、学期初めの日についてのことだったので、とてもためになった。それらを一覧にして資料としていただけたので、お話を聞くことに集中できた。（教職大学院ストレートマスターM1） 	
主体的にやり取りする力を育成する小学校外国語科の指導に関する研究 ～Small Talkを軸に活動のつながりを意識した取組を通して～	山口県下関市立文閣小学校 芳 賀 俊 輔 先生
<ul style="list-style-type: none"> ・小学校における外国語活動において、子どもたちが英語を使うことに抵抗感や苦手意識をもたずに済むような工夫について学ぶことができた。「外国語活動の授業が好き」と回答した子どもが90%という結果が取組の成果を示していると感じた。（教職大学院ストレートマスターM1） ・コミュニケーション・アイテムを1ペーパーにまとめておられ、とても分かりやすく、子どもたちが安心して使用できると思った。英語が苦手な人の立場に立っておられ、すばらしいと思った。（特別支援学校教員） 	
読んで考えを深める力を育成する小学校国語科の指導に関する研究 ～自己内対話を取り入れた学習活動を通して～	山口県山口市立興進小学校 松 本 圭 先生
<ul style="list-style-type: none"> ・「言葉」の大切さを自分自身が知ることができた。中学校国語科の教員免許状も取得（副免許）しているため、いつか現場で授業を行うことがあるかもしれないが、実際に中学校で国語の授業を行ったことがなく、そのまま現場に出ることは不安であった。そのため、この講座を選択した。自身がふだん「言葉」についてどう考えているか、見つめ直すことができた。勉強になったこと、実際に現場で取り組んでみたいことも得ることができた。（教職大学院ストレートマスターM1） ・内部的立場だけでなく、外部的立場を取り入れることの難しさを感じた。だが、子どもたちにとって、「外部的立場を取り入れる」という視点・意識をもつことだけでもとても意味があると感じた。（教職大学院ストレートマスターM1） 	
「地域づくりの要となる学校」をめざす学校と地域の連携・協働の実践研究 ～地域創造プロセスを通して～	広島県東広島市立高美が丘中学校 仙 立 勝 義 先生
「学習者起点の学び」を軸としたカリキュラム・マネジメントに関する研究 ～「知識創造」の視点から～	広島県立祇園北高等学校 村 上 孝 憲 先生
<ul style="list-style-type: none"> ・「知識創造」の視点からの研究は、非常に面白かった。内的な連関性の部分は、自身の授業でも意識していきたいと思った。また、新たな問いを見つけることは、深い学び、主体的な学びとも関わる部分であると思ったため、自身の研究の参考にしたい。（教職大学院ストレートマスターM1） ・広島県の取組、しかも中学校・高等学校の実践とあって、大変興味深く聞くことができた。学校改善へのお二人の先生の挑戦は、同じ教職大学院生として刺激と学びを得ることができた。実践を生み出す上で、理論をどう構築していくか、参考になった。（小学校教員） ・リーダーとして、学校全体、地域全体、社会全体のことを考えていくという視点について学んだ。ミドルリーダーの年齢だが、自分に今何ができるのか、悩んでいる。目の前にいる生徒に寄り添うことが、今できることであると言いつけて、毎日過ごしている。（中学校教員） 	



第3部



発表タイトル等	発表者
わくわく！小学校で俳句創作！の巻HELP ME！悩める若手教員！の巻	山口県防府市立小野小学校 中山正意先生
<ul style="list-style-type: none"> ・俳句づくりで、作品を見合ってアドバイスやコメントし合うと推敲しやすいのだと分かった。その他にも色々なお話を聞くことができて、とても温かい気持ちになった。（大学3年生） ・真剣に俳句をつくって（プレッシャーの中でつくる、他の人をつくる、推敲する等）、俳句をつくることの面白さを感じることができた。先生方のお話を聞いていて、先生になってからが本番だと思った。今回のように、話し合える仲間がいたら、私も頑張れそう！と感じた。（大学4年生） ・ザ・コーホートだった。じっくりと語り合うことができて濃い時間だった。（小学校教員） 	
困りや悩みを相談できる児童の育成に関する研究 ～「援助要請スキル」を高める授業を通して～	山口県防府市立右田小学校 織田優子先生
<ul style="list-style-type: none"> ・困っていることを表出することはすごくエネルギーがいることだと思う。話しやすい環境・先生ってどんな状態・人なのだろう…とこれからも考えていきたい。（大学4年生） ・実際に使用されたワークシートをもとに子どもたちの援助希求能力の育成を目指す研究についてのお話をしてくださったので、子どもたちが成長していく過程を知ることができた。（大学4年生） 	
自分との関わりで道徳的価値についての考えを深める 道徳科の指導に関する研究 ～教材と児童をつなぐ発問の工夫を通して～	山口県下松市立花岡小学校 山本浩司先生
<ul style="list-style-type: none"> ・「考え議論する」上で、「議論」とは何かについて教えていただき、自らも様々な形態や手法で実践してみたいと感じた。（大学4年生） ・経験の乏しい子どもたちが自分ごととして考えるために、自分も実践する際に、似通った経験を想起させてあげる必要のある教材と自分がつながるようにしてあげたいと思った。（教職大学院ストレートマスターM1） 	
誰もが認められ、活躍できる学級集団づくり ～教室で起きたドラマの紹介から学級経営お悩みQ&Aまで～	山口県柳井市立柳東小学校 桑原泰樹先生
<ul style="list-style-type: none"> ・先生自身の学級経営に関する成功談・失敗談を話してくださり、勉強になった。私自身も先生のように、失敗やトラブルを成長のチャンスにできるようにしたい。自分が将来先生になった時に、どんな学級経営をしていけるか、今からとても楽しみだ。今日の学びを生かして、桑原先生に勝る学級経営ができるように成長していきたい。（大学1年生） ・先生の経験に基づいた学級経営についてのお話は、感銘を受けることばかりだった。自分の疑問や不安を解消してくださり、早く学級経営をしていきたいと思った。若さを活かした実践をしたい。（大学4年生） 	
学びに本物を！つながりを！広がりを！ ～教科横断的な学習とルーブリック評価～	山口県立岩国総合高等学校 中村香織先生
	山口県立岩国総合高等学校 黒川真実先生
<ul style="list-style-type: none"> ・英語科の教員を目指しているが、目から鱗な内容ばかりだった。教員としての熱意をひしひしと感じ、大変充実した時間だった。（大学1年生） ・実技が絡む科目はルーブリックが使いやすく、有効であると思う。ルーブリックの組み方や活用問題のアイデアや考え方が、参考になった。教科横断的な授業をするには、やはり日頃の教員間のコミュニケーションが大切だと感じた。なかなか難しいが、教員間の関係づくりをしつつ、他教科の教科書を見してみる等、自分の手の届くところからやってみたい。（高等学校教員） ・教科横断的な取組、授業で考えていることを具体をもって話されており、とても良かった。他校種の方が見ても十分納得できると感じた。（高等学校教員） 	





皆で語り合う 皆で学び合う



つながり合う

ポスター掲示

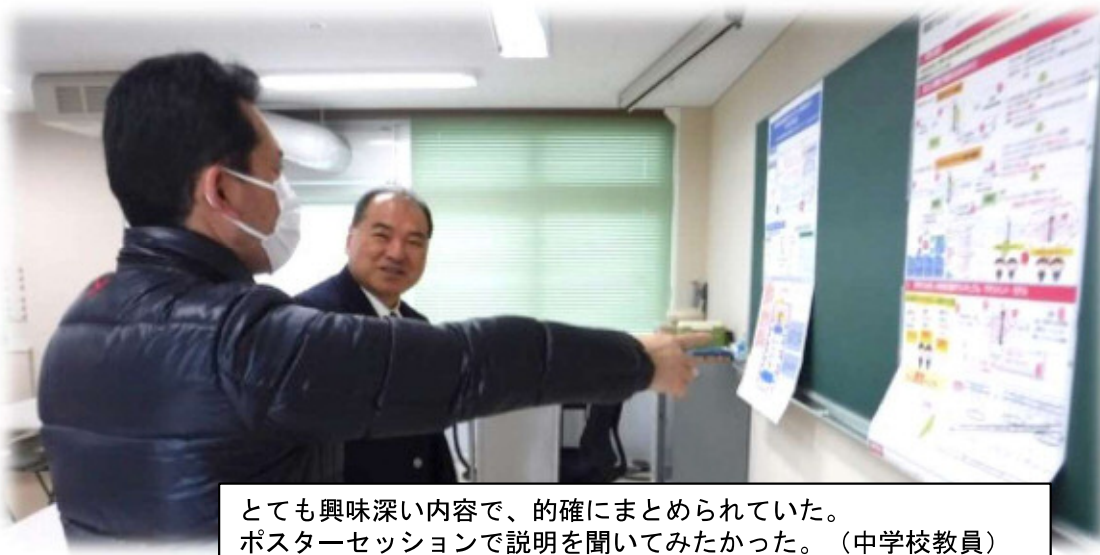


持続可能な地域社会創りを行う子どもの育成をめざす学校の在り方に関する研究

広島県竹原市立荘野小学校
兼 崎 素 子 先生

『探究する生徒』の育成を目指すカリキュラム・マネジメントに関する研究

広島県立広島高等学校
下 田 慶 史 先生



とても興味深い内容で、的確にまとめられていた。
ポスターセッションで説明を聞いてみたかった。（中学校教員）